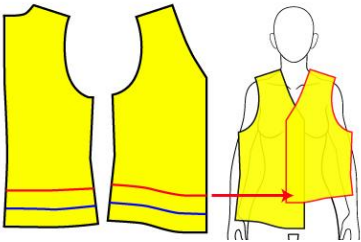


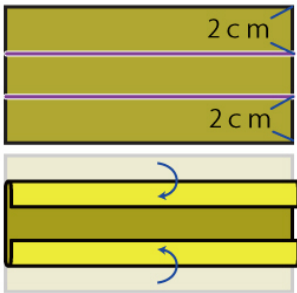

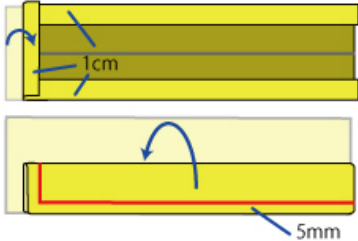


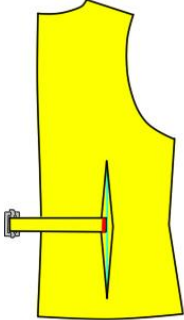
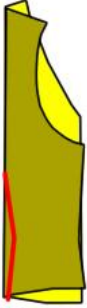
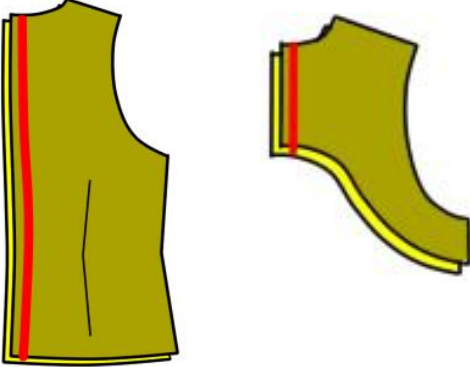
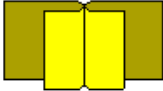
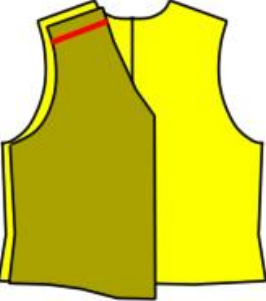
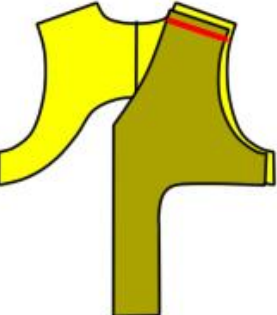
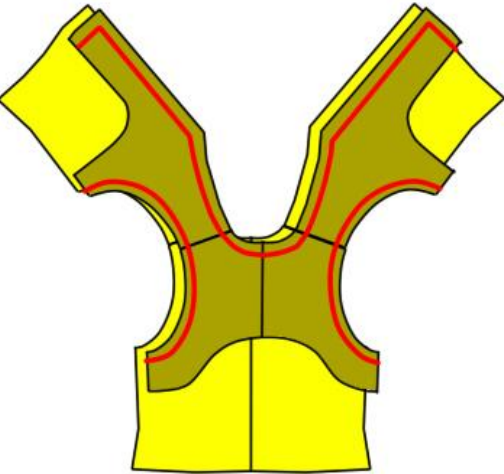
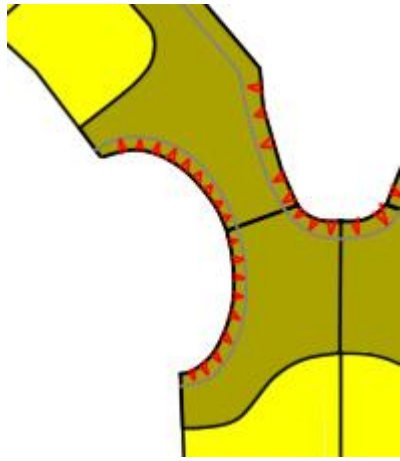
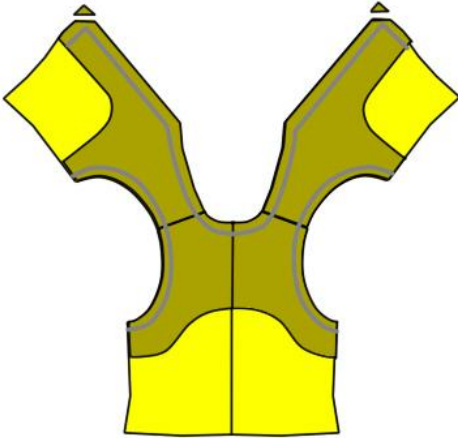
	<p>図の赤い所をほつれ止めをしてください。 それ以外は中に隠れるので不要です。 型紙で指定された場所の生地裏に接着芯を付けてください くわしくは縫う前の下準備にまとめてありますのでわからない人はこちらを参考にしてくださいね♪</p>
	<p>型紙にある複数の線は簡単に丈を変更できるように書いてあります。 型紙を体に当てて自分の作りたいイメージに近い線で作ってください。</p> <p> 表  裏</p>
	<p> 後のウエストの調整用のベルトを作ってください。 上下にチャコペンで2cm幅の線を引いてください。 その幅の線に端を合わせるように折ると綺麗に1cmで折れます。</p>
	<p>片方の端だけ裏へ1cmに折ってください。 反対側はダーツの中に隠れるので縫わなくてよいです。 半分に折って、5mmの所を縫ってください。</p>
	<p></p> <p>片方に移動カンを付けてください。</p>
	<p>ベルトの端をダーツの中央の1～2mm手前の所に合わせて、端から2mmくらいの所を縫ってください (ダーツの中央から1～2mm離すのは厚み分を考慮して)</p>

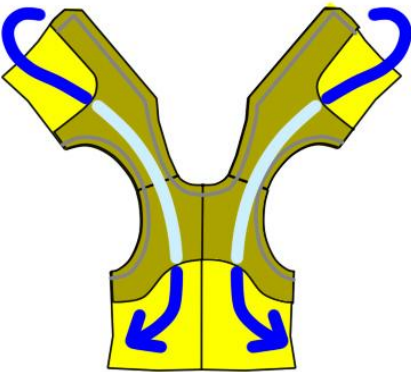
	<p>前と後身頃（胴体部分）のダーツ(立体にするためのつまみ)を縫ってください。</p> <p>ダーツを半分に折ってくの字に縫ってください。</p>
	<p>後中心を1cmの幅で縫ってください。</p>  <p>縫い代はアイロンで左右に折ってください。 後ろの見返しの中心も1cmの幅で縫ってください。</p>
	<p>前と後ろの部品を表が内側になるように重ねてください。</p> <p>肩を1cmの幅で縫ってください。</p>
	<p>見返し（内側の部品）を表が内側になるようにかさねてください。</p> <p>肩を1cm幅で縫ってください。</p>
	<p>広げた身頃の上に表同士が内側になるように見返しを重ねてください。</p> <p>前中心とえりとそでのカーブを1cm幅で縫ってください。</p>



ええり首とそでぐりの縫い代を5mm幅に切り落としてください。
カーブに切り込みを入れてください。
切込みを入れず裏がえすと引きつった感じになります。
（試しに切り込みをいれずに裏返してみてください、そうすると意味が分かると思います）



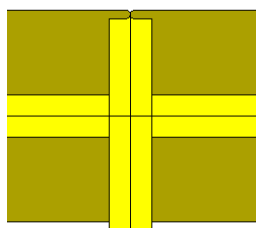
前の角の縫い代を切り落としてください。



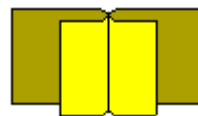
前身頃を肩の中を通して表替えしてください。
アイロンをかけて縫い代を落ち着かせてください」



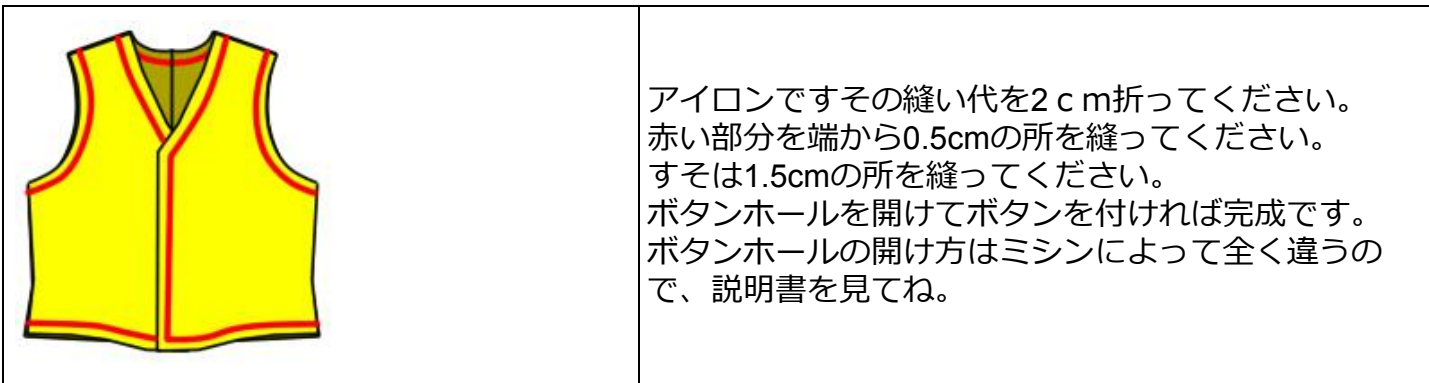
見返しを広げてください。
前身頃と後見頃の表が内側になるように重ね脇を1cmの幅で縫ってください



脇を広げる。



縫い代をアイロンで左右に折ってください。

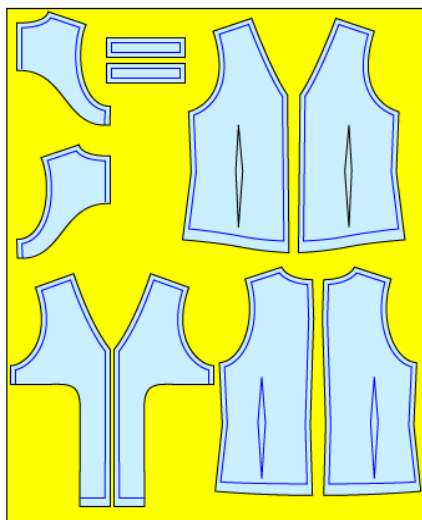


アイロンですその縫い代を2cm折ってください。
 赤い部分を端から0.5cmの所を縫ってください。
 すそは1.5cmの所を縫ってください。
 ボタンホールを開けてボタンを付ければ完成です。
 ボタンホールの開け方はミシンによって全く違うので、説明書を見てね。

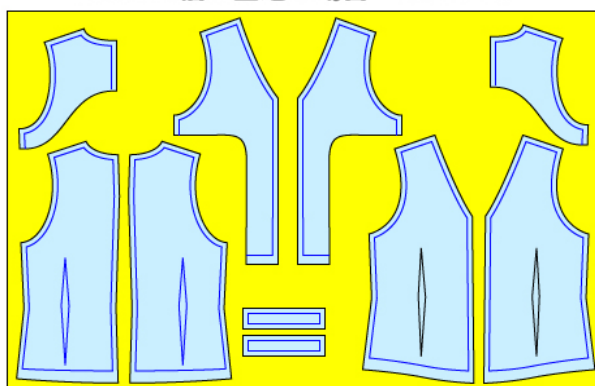
必要なもの

表地、接着芯、ボタン、もしくはスナップボタン、糸

110cm幅の生地の場合 140cm



150cm幅の生地の場合 110cm



上記はMサイズの一例 一番長い丈で計算しています。

Sサイズは 110cm幅の生地の場合130cm 150cm幅の生地の場合100cm

Lサイズは 110cm幅の生地の場合150cm 150cm幅の生地の場合140cm

実際はゆがみなどがあるので20cmほど多めに買っておいと思えます

一つ上の丈で作る場合110cm幅の生地は10cm、150cm幅の生地は5cm少ない量で作れます

このデザインに適した生地

・スウェード

革の表面を加工して起毛させた生地でさわり心地がよく、ベストによくつかわれる。
 スウェード調というのは人工的に作りだしたスウェードの手触りを似せて作られた生地のこと。

・ポリエステルツイル

化繊なので綿ツイルに比べて軽くしわになりにくいです。張りがあります、張りがある分柔らかくドレープを出したいデザインには向きません。初心者にも扱いやすい生地です。

・綿ツイル

ポリエステルツイルに比べ、柔らかいですが、出来上がった服を着て長い時間座ったりするとシワが入ります。

扱いやすい生地です

・接着芯

接着芯は生地の厚さにあったものを選んでください

薄いものに厚地用を使うと接着剤が染み出てきたり

厚地に薄地用の芯を使うと接着剤不足ではがれてきたりします

このデザインだと不織布より織物かニットの芯が向いています